

＜社会教育（生涯学習）分野の点検・評価＞

社会教育（生涯学習）分野については、大きく生涯学習事業と図書館事業に分けて点検・評価しました。

I 生涯学習事業

生涯学習事業については、下記に掲げる項目について、目標・取組概要、自己評価、今後の課題と対応方向、外部の方々から頂いた意見をまとめました。

1 豊かな生活をめざした学習機会の提供・充実と人材バンクの活用

学習機会の提供と自主的サークル活動への支援を行い、市民が自主的に学習活動に取り組める環境を整備します。

また、市民が自主的な学習活動に取り組む際、指導者の紹介や育成・登録及び生涯学習・社会教育に関する情報提供や支援をします。

項 目	1 多様な学習機会の提供										
目標・取組概要	<p>① 自然観察会 守谷市自然調査会で調査編集した「もりやの自然誌」などを活用しながら自然を観察し、豊かな守谷の自然について理解を深めてもらうため自然観察会を開催します。</p> <p>② 公民館講座・教室事業 中央公民館，郷州公民館，高野公民館，北守谷公民館において講座・教室を開催し，学習機会の提供，学習意欲の喚起を図り，市民の学習活動につながるきっかけづくりを促進します。</p>										
自己評価	<p>① 自然観察会を開催し，市民に守谷の自然について理解を深めていただき，自然愛護，郷土愛の心を育てることに寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 春の自然観察会（雨天中止） ・ 秋の自然観察会（参加者27人） <p style="padding-left: 2em;">平成27年10月4日実施，やまゆり公園周辺</p> <p>② 講座・教室等事業は，市民の学習活動の促進に寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座・教室等開設状況 <table style="margin-left: 2em; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 1em;">中央公民館</td> <td>25事業実施（延べ88回）</td> </tr> <tr> <td>郷州公民館</td> <td>16事業実施（延べ35回）</td> </tr> <tr> <td>高野公民館</td> <td>19事業実施（延べ25回）</td> </tr> <tr> <td>北守谷公民館</td> <td>14事業実施（延べ28回）</td> </tr> <tr> <td>大野公民館</td> <td>6事業実施（延べ6回）</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座・教室終了後のサークル発足数 <p style="padding-left: 2em;">3サークル（中央公民館2：シニアカレッジ，そば打ち教室，高野公民館1：男の料理教室）が，月2回の定期活動を継続</p>	中央公民館	25事業実施（延べ88回）	郷州公民館	16事業実施（延べ35回）	高野公民館	19事業実施（延べ25回）	北守谷公民館	14事業実施（延べ28回）	大野公民館	6事業実施（延べ6回）
中央公民館	25事業実施（延べ88回）										
郷州公民館	16事業実施（延べ35回）										
高野公民館	19事業実施（延べ25回）										
北守谷公民館	14事業実施（延べ28回）										
大野公民館	6事業実施（延べ6回）										

今後の課題と対応の方向性	<p>① 自然観察会は、ボランティア指導者による自主運営で行われ、市内の自然や野鳥を観察していますが、指導者の高齢化が進んでおり、新たな指導者の発掘が必要です。</p> <p>また、悪天候で中止になる場合があり、天候が安定する時期に実施するように開催日程を見直すことも必要です。</p> <p>② 公民館運営は、平成24年4月から指定管理者を導入し、平成27年度は2期目の初年度となりました。今後、5年間は民間のノウハウを生かして市民サービスの向上に努めるとともに、運営協力員との連携により、地域コミュニティ形成に努めていきます。</p> <p>③ 市民の生涯学習への参加促進のため、講座事業においては時宜にかなう意図や目的を持ったテーマを設定し、参加者募集に当たっては、催行最少人数を設定しながら開催していきます。</p>
---------------------	--

項目	2 人権教育の推進
目標・取組概要	<p>① 東板戸井集会所の開放 地域住民及び周辺地域住民がお互いに交流を深められるよう、誰もが参加できるサークル活動を支援します。</p> <p>② 人権啓発研修会の開催 「人権啓発研修会」を開催し、あらゆる偏見や差別をなくすために、人権教育の充実を図ります。</p>
自己評価	<p>① 東板戸井集会所事業は、年間を通じて定期使用サークル団体等が利用し、市民の交流に寄与しました。</p> <p>② 市と共催で研修会を開催し、ワークショップを通して、視覚、聴覚など一人ひとりの感覚の違いに気付かせるなど、福祉と人権の大切さを学ぶ機会を提供しました。</p>
今後の課題と対応の方向性	<p>市民への啓発と併せて、社会教育関係者及び団体にも人権意識の向上が必要です。今後も、家庭・学校・地域に定着する人権教育を推進します。</p>

項目	3 生涯学習情報の提供
目標・取組概要	<p>① 広報紙等での生涯学習情報の提供 「広報もりや」の生涯学習コーナーや市ホームページでの記事掲載による情報提供を行います。</p> <p>② 生涯学習推進事業の実施 各公民館持ち回りによる生涯学習推進事業の実施を通して、地域交流による学習活動と情報交換の場を提供し、生涯学習を推進します。</p>
自己評価	<p>① 毎月発行の「広報もりや」において生涯学習情報及び翌月以降のイベント・講座等の情報、また、市ホームページにおいて市内</p>

	<p>のサークル・文化財の情報等を掲載することで、市民に最新の情報をいち早くお知らせしました。</p> <p>② 中央公民館祭りの一環として実施した生涯学習推進事業では、健康と笑いをテーマにした視聴覚講座を行いました。</p>
今後の課題と対応の方向性	<p>① 学習機会の提供だけではなく、学習活動の様子や現状についての情報発信も必要です。</p> <p>市ホームページで市民の活躍を紹介することにより、スポーツ・文化活動に対する意欲向上と新たに活動を始めるきっかけづくりを行うため、定期的に動画や写真を含めた情報を発信できる体制を整えます。</p> <p>② 公民館指定管理者が管理するホームページの充実を提案し、講座やイベントの開催等いつでも、どこでも情報を収集できるよう見直す必要があります。</p>

項目	4 人材バンクの活用
目標・取組概要	「もりや生き生きライフリーダーバンク」を活用し、生涯学習を推進するため、広報紙により人材バンク登録者の募集及び市ホームページでの登録者紹介によるPRを実施します。
自己評価	「もりや生き生きライフリーダーバンク」の活用は、関係団体や市民の協力を得ながら、学びの成果を生かし、効果的な学習活動の提供に寄与することができました。
今後の課題と対応の方向性	「もりや生き生きライフリーダーバンク」については、広報紙及び市ホームページにおいて登録者の募集、紹介、活用方法等のPRに努めていますが、活用が少ないのが現状です。引き続き、学校、子ども会等との連携を深めるとともに、市民が利用しやすい仕組みづくりを検討します。

<外部の方々から頂いた意見>

- * 人権啓発の研修会には、もっと若い世代に参加してほしい。子育てや介護の際に必要な心構えが学べる機会でもある。
- * 人材バンクを利用する側に、もっと活用しやすい方法を検討する必要がある。
- * 生涯学習推進事業は、現状の事業内容では、趣旨とかけ離れており、大きな改善も見込めないことから、一旦廃止し、別の形で事業名にふさわしい事業を立ち上げてほしい。

2 学校、家庭、地域社会の連携による教育の推進

学校、家庭、地域社会の連携により、子どもが心身ともに健康で人間性豊かに育つ教育環境を整備します。

項目	1 開かれた学校づくりの推進
目標・取組概要	学校、家庭、地域社会が連携・協力し、開かれた学校づくりを推

	進するため、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として、学校体育館やグラウンドを学校教育の支障のない範囲で開放する。
自己評価	<p>学校体育施設開放事業は、市内小中学校13校の体育館、格技場、卓球場、グラウンドを開放（グラウンドを除き有料）し、定期使用サークル127団体、2,380人が登録して活動しています。</p> <p>スポーツ活動のきっかけづくりと自主的な活動の支援事業として、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として中心的な役割となっています。</p>
今後の課題と対応の方向性	<p>① 学校施設等の改修に伴い、長期的に希望どおりの期日・時間帯に開放できない施設があるため、利用団体間の連携を密にし、時間調整や活動場所の分割など、一時的に連携・統合する活動が必要です。</p> <p>② 利用団体と学校との連絡調整手段について検討し、利用団体のマナー向上や効果的な施設の利用について見直す必要があります。</p>

項目	2 青少年の体験学習の充実
目標・取組概要	<p>子どもたちの豊かな心を育むため、多様な体験学習の機会を提供します。</p> <p>・中学生富士登山 市内在住の中学生を対象に、1泊2日で中学生富士登山を実施します。苦勞して仲間たちと日本最高峰の富士山頂を目指すことで、他校の中学生とも親睦交流を深め仲間意識を育みます。</p>
自己評価	<p>中学生の富士登山は、仲間とともに自然の厳しさと闘いながら山頂に挑むことで、心身ともに健全な身体を作り、仲間意識を育むことに重要な役割を果たしました。（参加者：中学生93人、指導者31人）</p>
今後の課題と対応の方向性	<p>① 野外活動事業は、専門知識を持った指導者に依頼し実施するよう、今後も指導者の発掘に努めます。</p> <p>② 中学生富士登山は、旅行業法の適正運用に留意し、安全な事業遂行に努めます。</p>

項目	3 青少年の健全育成
目標・取組概要	<p>子どもの自主性を育て、健全育成を図ります。</p> <p>① 守谷市子ども会育成連合会行事の支援 市内の子ども会活動を活発にするため、守谷市子ども会育成連合会が実施する事業への会場提供、広報掲載及び参加者募集受付、運営等の支援及び補助を行います。</p>

	<p>② 青少年相談員の活動</p> <p>青少年の健全育成を推進するため、パトロールや「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動などの活動を行います。</p>
自己評価	<p>① 子ども会活動では、子どもたちに集団活動のルールなどを身に付けさせることができました。子ども交流フォーラム（子ども達の1泊2日の交流会）、親子たこあげ大会、育成者初級研修会など守谷市子ども会育成連合会事業を支援しました。</p> <p>② 青少年相談員の活動では、青少年の健全育成に協力する店の登録活動を行い、青少年を取り巻く社会環境の浄化を図りました。 (協力店：78店)</p> <p>また、下校時等における巡回パトロール活動を行い、青少年の非行の防止、犯罪被害の未然防止に寄与しました。 (回数：15回、相談員：延べ34人)</p>
今後の課題と対応の方向性	<p>子ども会への加入率が低下し、子ども会活動に協力する保護者も少なくなっている現状について、子どもたちや保護者の生活環境の多様化、子ども会に対する考え方の変化等が考えられます。</p> <p>守谷市子ども会育成連合会行事の企画段階から複数の保護者の意見を取り入れ、事業の活性化を図る必要があります。</p>

項目	4 家庭教育の充実
目標・取組概要	<p>家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習機会を提供します。</p> <p>① 家庭教育講演会</p> <p>児童生徒を持つ保護者が家庭教育の重要性を認識し、家庭において子どもの健全育成が図れるよう必要な知識・技能を学習してもらうため講演会を開催します。</p> <p>② 家庭教育講座</p> <p>児童生徒を持つ保護者に家庭教育の重要性を認識してもらうため、市内保育園（所）、幼稚園、小・中学校の全保護者を対象に社会教育指導員等が講師となって講座を開催します。</p> <p>③ 就学时家庭教育講座</p> <p>就学前児童の健康診断を利用して、就学前児童の生活及び入学後の生活習慣を理解してもらうため、家庭教育講座を開催します。</p>
自己評価	<p>① 家庭教育講演会や講座は、保護者間のコミュニケーションを図り、子育てに関する情報を交換する場となっています。</p> <p>② 就学时家庭教育講座は、茨城県教育委員会が作成した「家庭教育ブック～すくすく育ていばらきっ子～」を活用して、就学予定児の心の不安やしつけ、保護者の心構えなどについて講話を実施し、就学前の生活や入学後の生活習慣の理解につながりました。</p>

今後の課題と 対応の方向性	家庭教育講座の主な参加者は、就学前の児童、小学生を持つ保護者です。発達段階に応じた適切な家庭教育事業を実施し、家庭における親の役割や、家庭は人間形成の行われる最初の場であることを継続して伝えていく必要があります。
--------------------------	--

<外部の方々から頂いた意見>

- * 中学生富士登山は、登山の苦しさの中から仲間との連帯感を生みだし、他人を思いやる気持ちを養うことができる。家庭では経験できない貴重な体験ができた。
- * 家庭教育講演会や講座は、平日だけではなく、土曜、日曜など休日に開催してほしい。
- * 家庭教育講座は、子どものことだけでなく、自分の成長にもつながる内容で大変勉強になった。

3 学習活動・芸術鑑賞の場の提供と公民館活動の推進

芸術・文化活動の推進を図ります。また、地域住民が自ら学び合い、活動し合う場及び学習機会を提供し、公民館活動を通してコミュニティづくりを推進します。

項目	1 芸術文化活動・発表の場の提供
目標・取組概要	<p>① 芸術祭の開催（文化協会との共催） 文化芸術活動意欲の向上及び市民交流の活発化を促進するとともに、市民の芸術活動の成果を発表する場として、菊花展、若い芽のコンサート、美術展、生花展、芸能祭等を文化協会との共催で実施します。</p> <p>② コンサート等大規模事業支援制度 生涯学習団体等の活動を支援し、生きがいと潤いのある市民生活の実現に寄与することを目的に、市内各公民館等を活動拠点として活動を行っている団体等に対し、年1回に限り使用料を免除し、活動を支援していきます。</p> <p>③ タベのコンサートの開催 市民に無料で気軽に音楽に親しめる場として、コンサート出演者が積極的に企画・運営に参画し、夏の夕べに家族で楽しめるコンサートを開催します。</p> <p>④ 伝統文化子ども教室実施団体の支援 守谷市の伝統文化を継承していくために、子ども教室を開催している実施団体に、活動施設の提供・広報等の支援をします。</p>
自己評価	<p>① 芸術祭は、多種多様な芸術文化活動成果の発表の場を設けることにより、参加者の学習意欲の高揚を図ることができました。 また、市の文化活動をPRすることにより、芸術文化に親んでもらい、市民間の交流を図ることができました。 期 間：平成27年11月1日（日）～11月30日（月） 場 所：中央公民館、市役所中庭</p> <p>② コンサート等大規模事業支援制度は、生涯学習団体及びNPO</p>

	<p>法人等非営利団体が、市内各公民館のホール等でコンサートなどの大規模事業を行う場合、年1回に限り使用料（控室1部屋を含む）を免除する事業です。6箇月前から優先使用を許可する制度で10団体が活用し、生きがいと潤いのある市民生活の実現に寄与しました。</p> <p>③ タベのコンサートは、出演者が積極的に運営に参画し、自らの手で、夏の夕べに家族で楽しめるコンサートを開催し、市民に無料で気軽に音楽に親しめる場を提供しました。</p> <p>開催日時：8月1日、8日、22日、29日の各土曜日 午後6時</p> <p>会 場：市役所中庭（雨天時庁舎内）、市役所ロビー</p> <p>※ タベのコンサート入場者数集計表 (人)</p> <table border="1" data-bbox="488 757 1334 1064"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>出演団体数</th> <th>出演者数</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月1日</td> <td>3</td> <td>71</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>8日</td> <td>5</td> <td>71</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>22日</td> <td>4</td> <td>52</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>29日</td> <td>4</td> <td>65</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>259</td> <td>799</td> </tr> </tbody> </table> <p>【直近3年の来場者の推移】</p> <p>平成24年度 840人（4回開催） 平成25年度 824人（4回開催） 平成26年度 844人（4回開催）</p>	開催日	出演団体数	出演者数	来場者数	8月1日	3	71	216	8日	5	71	198	22日	4	52	234	29日	4	65	151	計	16	259	799
開催日	出演団体数	出演者数	来場者数																						
8月1日	3	71	216																						
8日	5	71	198																						
22日	4	52	234																						
29日	4	65	151																						
計	16	259	799																						
<p>今後の課題と対応の方向性</p>	<p>芸術・文化活動は、鑑賞型から体験型や技能習得型に移行してきているため、意欲ある市民に対して発表の場を提供するなど、継続的な支援を行います。</p> <p>また、以前と比較して参加者が減少傾向にあるため、新たな参加者を見つける必要がある。</p>																								

<p>項目</p>	<p>2 芸術・芸能鑑賞の場の提供</p>
<p>目標・取組概要</p>	<p>① 守谷市美術作家展 市民の郷土理解と芸術文化振興を図るために、市内在住者等で美術の分野で活躍している方々の美術展を開催します。</p> <p>② もりや夢の舞と響（文化協会との共催） 郷土の芸術文化活動の推進を図るために、守谷市文化協会と共催で、舞踊・民謡・声楽等の分野で指導的な立場にある方々の公演を開催します。</p>
<p>自己評価</p>	<p>① 守谷市美術作家展は、市内在住等で美術の分野で活躍している方々の展覧会を開催し、市民の郷土理解と芸術文化振興に寄与し</p>

	<p>ました。</p> <p>開催期間：平成28年2月27日（土）～3月6日（日）</p> <p>会 場：市民ギャラリー</p> <p>② もりや夢の舞と響は、守谷市文化協会と共催して伝統芸能の分野で指導的な立場にある方々が公演し、郷土の芸術文化活動の推進に寄与しました。</p> <p>期 日：平成27年6月7日（日）</p> <p>会 場：中央公民館ホール</p>
今後の課題と対応の方向性	美術作家展やもりや夢の舞と響は、プロが展示や出演することにふさわしい会場の整備が望まれており、検討を継続しています。

項 目	3 コミュニティづくりの推進
目標・取組概要	公民館利用を促進し、市民に公民館での芸術文化活動の内容を知らせることにより、市民の学習意欲の高揚を図るため公民館使用サークルから実行委員を選出して、公民館まつりを開催します。
自己評価	<p>公民館使用サークルから選出した実行委員等の企画・運営による公民館まつりを開催し、公民館の利用促進に寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館祭り : 平成28年3月13日 ・郷州公民館まつり : 平成28年2月19日～21日 ・高野公民館まつり : 平成27年6月7・8・13・14日 ・北守谷公民館まつり : 平成28年2月22日～28日
今後の課題と対応の方向性	公民館まつりは、公民館運営協力員を主体とする実行委員会が主体となって運営することが好ましい方向性です。指定管理者と実行委員会が協働し、異世代交流や地域のネットワークづくりなど各公民館の特徴を生かしたイベントの実施を計画します。

<外部の方々から頂いた意見>

- * タベのコンサートに若者のグループの参加があり、新旧の交流が感じられて良かった。若者と年配者が「音楽」を楽しみながらふれあう場として続けてほしい。
- * 公民館まつりは、サークル・地域・公民館の連携に加えて、小中学校の協力を得ることができ、異世代交流の場になっている。今後も、地域力を生かした活気あるイベントを作り上げたい。

4 健康づくりの推進とスポーツ活動の充実

市民が、生涯において、いつでもスポーツ活動を行い、自ら進んで実践することができるよう多様な学習機会を提供します。

項 目	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進
目標・取組概要	<p>① 健康スポーツフェスティバル</p> <p>スポーツを通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、生きがいや健康づくり・社会参加を促し、多くの市民が様々な分野の</p>

	<p>活動を理解できる機会を提供します。</p> <p>② 各種スポーツ教室 市民の健康増進と体力向上を図るため、市内在住・在勤者を対象とした初心者水泳教室、水中ウォーキング教室等を開催します。</p> <p>③ 夏休みプール開放 市内小学校児童に、夏休みの安全な活動場所を提供します。</p>
<p>自己評価</p>	<p>① 健康スポーツフェスティバルを開催し、異世代交流を図るスポーツ体験コーナーや健康・福祉に関する団体等の発表などを通じ、多くの市民が様々な分野の活動を理解できる機会を提供することにより、市民の体力づくり、健康増進、生きがいや健康づくり、社会参加を促進しました。</p> <p>期 日：平成27年10月25日（日） 会 場：常総運動公園 参加者数：約3,636人</p> <p>② スポーツ教室では、常総運動公園室内温水プールを使用して、スポーツ推進委員の指導による「アフターファイブスイミング」、「初心者水泳教室」、「水中ウォーキング教室」を開催し、自主的活動を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフターファイブスイミング 期 日：平成27年5月13日～6月24日 毎週水曜日（8回） 参加者数：20人 ・初心者水泳教室 期 日：平成27年9月17日～10月15日 毎週木曜日（5回） 参加者数：26人 ・水中ウォーキング教室 期 日：平成28年3月5日（土）～3月6日（日） 参加者数：10人 <p>③ 夏休みプール開放事業では、市内小学校児童4,177人に常総運動公園プールの利用券を1人につき3枚発行し、安全な活動場所を提供するとともに、公共の場における公德心の向上に寄与しました。</p> <p>期 日：平成27年7月20日（土）～9月13日（日） 利用者数：延べ5,069人</p>
<p>今後の課題と対応の方向性</p>	<p>① 各種スポーツ教室は、高齢者の健康づくりや子どもたちのスポーツ活動へのきっかけづくりなど、明確な目的を持って事業を行う必要があります。</p> <p>② 夏休みプール開放事業は、国の指導によりプール監視を委託す</p>

	る業者の警備業の認定を有すること、また、監視員には所定の長時間を必要とする教育を行うこととなったことから、市の夏休みプール開放事業管理業務を請け負う業者の確保が困難な状況であるため、当面常総運動公園プールを利用する必要があります。
--	---

項目	2 地域住民の交流の場の提供
目標・取組概要	<p>① 守谷ハーフマラソン 守谷市民をはじめ、全国各地から愛好者が参加し、小学生から高齢者まで幅広い世代の交流と健康増進を図ることを目的に、守谷ハーフマラソンを開催します。</p> <p>② 各種スポーツ大会 体育協会の各専門部会の協力により、各種スポーツ大会を開催し、市内各クラブの交流と技術の向上を図ります。</p>
自己評価	<p>① 守谷ハーフマラソンは、全国各地からの参加があり高い評価を受けています。守谷ハーフマラソン実行委員会（守谷市体育協会）が主催し、平成28年2月7日（日）に第32回大会を開催しました。6,293人の申込みがあり、幅広い世代の交流と健康増進に寄与しました。</p> <p>② 市内各種スポーツ大会は、グラウンドゴルフ大会・バレーボール大会・バドミントン大会・軟式野球大会・テニス大会・ソフトボール大会・ソフトテニス大会・卓球大会・バスケットボール大会を開催し、各クラブの交流と技術の向上に寄与しました。</p>
今後の課題と対応の方向性	守谷ハーフマラソンは、市民優先申込みを行っていることから、小学生の参加種目については、市民だけで定員を超えてしまう状況になりつつあります。ハーフマラソン種目は、市外参加者の一般申込みが2日程度で定員超過になるため、定員の増加を望む声もありますが、コースの安全性などを鑑み、参加者数を増やすことは困難な状況です。今後、実行委員会と協議し、大会運営等について、再検討を進める必要があります。

項目	3 スポーツ・文化活動の功績の奨励
目標・取組概要	守谷市のスポーツ及び文化の振興を図り、健康づくり、文化意識の高揚に寄与した優秀な個人又は団体等に対し奨励金を交付し、スポーツ・文化の振興を図ります。
自己評価	スポーツ・文化振興奨励金は、36件、延べ105人に交付し、その功績を称えるとともに、多くのスポーツ・文化活動を行っている市民の励みとなり、スポーツ・文化の振興に寄与しました。
今後の課題と対応の方向性	スポーツ・文化振興奨励金交付事業は、交付基準をより明確にして、市民に分かりやすい制度にする必要があります。

	市内だけではなく市外にもホームページやSNSで、活躍する市民を広くPRしていきます。
--	--

＜外部の方々から頂いた意見＞

- * スポーツ教室については、水泳に特化せず、体育協会やNPO団体と連携して各種教室を検討してほしい。
- * 卓球大会は、高齢者の部門を作ってほしい。今後、スポーツに親しむ高齢者が増えるため、参加しやすい環境を提供してほしい。

5 郷土愛と文化財の保存・周知

文化財の保存及び周知を図り、文化財を愛する心を育成するとともに郷土を愛する市民を育てます。

項目	1 郷土愛と文化財の保存・周知
目標・取組概要	① 市民に郷土の歴史や先人の残した文化遺産を理解してもらい、保護と周知を図るため、文化財説明看板を設置します。 ② 郷土資料の周知と保存についての理解をしてもらうため、市内遺跡、遺構の想像復元模型のPRと貸出しを実施するなど、郷土資料室・郷土資料展示コーナーの活用を図ります。
自己評価	① 史跡の草刈りや天然記念物の樹勢回復等、指定文化財の保護を実施するとともに、新たに八坂神社祇園祭を市指定無形民俗文化財に指定しました。 ② 守谷ふるさとかるた（改訂版）の発行、下町薬師堂句額の特別公開等を行い、守谷の歴史と文化の周知を図りました。
今後の課題と対応の方向性	① 文化財保護強調週間などの機会に郷土資料や文化財の保存・活用を図る必要があります。 ② 指定文化財及び埋蔵文化財の保護や新たな文化財の発見を通して、郷土の歴史や文化を広く周知し、郷土愛や文化を愛する心の育成を図る必要があります。

＜外部の方々から頂いた意見＞

- * 郷土資料館や博物館をつくってほしい。
- * 地域の文化や伝統を生かして市の特産品を開発できないか、検討してほしい。

6 放課後子ども総合プランの充実と児童の安全・安心の確保

子ども同士や子どもと地域の大人との交流を促進し、地域の教育力向上、活性化を図るため、放課後子ども総合プラン事業を実施します。

項目	1 放課後子どもプラン事業
目標・取組概要	① 放課後子ども教室 地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供します。月曜日から金曜日の放課後に、1年生から6年生を対象に実施します。

	<p>② 児童クラブ 保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に、適切な遊び及び生活の場を提供します。 月曜日から金曜日の放課後と土曜日、長期休業期間や学校休業日は早朝から1年生から6年生を対象に実施します。</p>																																																																																				
自己評価	<p>① 児童クラブと子ども教室の運営を一体的に民間委託したことにより、指導員の確保や保育現場での迅速な対応が可能となり、児童クラブの保育時間延長などの取組により、保育サービスの向上につながりました。</p> <p>② サッカー教室や英語に触れる活動を取り入れるなど、活動内容の充実を図ることができました。</p>																																																																																				
今後の課題と対応の方向性	<p>① 放課後子ども総合プラン事業は、平成24年4月から民間委託しており、今後も民間委託によりサービスの向上を図っていきます。</p> <p>② 児童クラブは、平成27年度から、対象が小学校6年生まで拡大されました。児童数増加の推移と併せて、クラブ室の確保が必要となるため、適切な環境整備と通所児童が安心して生活できる場の提供に努めます。</p> <p>※ 放課後子ども総合プラン登録状況 (平成28年1月1日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">児童クラブ (単位:人)</th> <th colspan="3">子ども教室 (単位:人)</th> </tr> <tr> <th>学 校</th> <th>児童数</th> <th>定員</th> <th>支援員</th> <th>児童数</th> <th>支援員</th> <th>ボランティア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大井沢</td> <td>141</td> <td>120</td> <td>10</td> <td>56 (35)</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>大野</td> <td>59</td> <td>40</td> <td>4</td> <td>51 (22)</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>高野</td> <td>76</td> <td>75</td> <td>5</td> <td>59 (18)</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>守谷</td> <td>180</td> <td>160</td> <td>13</td> <td>100 (45)</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>黒内</td> <td>116</td> <td>80</td> <td>7</td> <td>37 (37)</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>御所ヶ丘</td> <td>83</td> <td>75</td> <td>8</td> <td>51 (13)</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>郷州</td> <td>93</td> <td>80</td> <td>11</td> <td>65 (22)</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>松前台</td> <td>138</td> <td>80</td> <td>8</td> <td>37 (20)</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>松ヶ丘</td> <td>129</td> <td>80</td> <td>11</td> <td>89 (29)</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,015</td> <td>790</td> <td>77</td> <td>545 (241)</td> <td>29</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>注:()は有料の参加児童</p>	児童クラブ (単位:人)				子ども教室 (単位:人)			学 校	児童数	定員	支援員	児童数	支援員	ボランティア	大井沢	141	120	10	56 (35)	4	9	大野	59	40	4	51 (22)	3	6	高野	76	75	5	59 (18)	3	6	守谷	180	160	13	100 (45)	4	8	黒内	116	80	7	37 (37)	3	5	御所ヶ丘	83	75	8	51 (13)	3	5	郷州	93	80	11	65 (22)	3	8	松前台	138	80	8	37 (20)	3	6	松ヶ丘	129	80	11	89 (29)	3	5	計	1,015	790	77	545 (241)	29	58
児童クラブ (単位:人)				子ども教室 (単位:人)																																																																																	
学 校	児童数	定員	支援員	児童数	支援員	ボランティア																																																																															
大井沢	141	120	10	56 (35)	4	9																																																																															
大野	59	40	4	51 (22)	3	6																																																																															
高野	76	75	5	59 (18)	3	6																																																																															
守谷	180	160	13	100 (45)	4	8																																																																															
黒内	116	80	7	37 (37)	3	5																																																																															
御所ヶ丘	83	75	8	51 (13)	3	5																																																																															
郷州	93	80	11	65 (22)	3	8																																																																															
松前台	138	80	8	37 (20)	3	6																																																																															
松ヶ丘	129	80	11	89 (29)	3	5																																																																															
計	1,015	790	77	545 (241)	29	58																																																																															

<外部の方々から頂いた意見>

- * 放課後子ども教室の無料日には、多くの児童が参加しており、活気があると感じる反面、これ以上増えた場合、子どもたちの安全性の確保に不安がある。ボランティアが少ないと思う。
- * 無料日は、事業のPR策として設けたものなので、一定の成果が見られるのなら、廃止の方向を検討してみてはどうか。